

神経科精神科 での 研修について教えてください。

病棟ではA～Dの4つの診療チームがあり、研修医はいずれかのチームに配属されて研修をスタートします。各チームには後期研修医、中級医、上級医の3名がおり、担当症例についてきめ細かな指導を受けることができます。

外来では予診を担当します。初対面の患者・家族へ問診を通して信頼関係を構築し、必要な情報を導き出して病歴をまとめ、実際に精神医学的現症を評価します。本診に陪席してフィードバックを受けて問診や**精神医学的現症を把握する**テクニックを磨きます。

毎週チームカンファレンス、臨床系カンファレンス（各チームと外来担当医が参加）があり、基本的な鑑別診断、心理検査、初期治療などを研修します。

具体的な研修目標は下記です。

- 支持的精神療法、傾聴法などの**カウンセリング**の基礎を学ぶ。
- 抗精神病薬、抗うつ薬、気分安定薬、抗てんかん薬、抗不安薬、睡眠薬などの**向精神薬の知識と使い方**の基本を修得する。
- **不安時、不眠時、不穏時の基本的対応**ができるようになる。
- **興奮した患者への対応、行動制限の現場など倫理的配慮が必要な場面**を体験する。

児童・思春期の精神医学に興味がある場合は、**子どものこころの診療科**の外来を見学することができます。

リエゾンチームに参加し、一般病棟で遭遇する**せん妄**や、**ステロイド精神病**など身体疾患に関連した精神・行動障害の対応を研修することができます。



神経科精神科 講師
内藤 暢茂 先生